

リテール事業本部

個人のお客さまのあらゆるニーズにお応えするため、住宅ローンをはじめ、資産運用や相続、コンシューマーファイナンスなどの幅広い商品・サービスを提供しています。



主な事業会社と事業内容

- 三菱東京UFJ銀行は、国内665(*)のリテール拠点をプラットフォームに、預金、住宅ローン、運用商品の販売からバンクイック（コンシューマーファイナンス）まであらゆる金融サービスを提供しています。
- 三菱UFJ信託銀行は、相続や贈与など資産承継に関する信託商品を提供するほか、不動産仲介も行っています。
- 三菱UFJモルガン・スタンレー証券は運用商品や債券・株式の販売などを行っており、カブドットコム証券はネット証券として利便性の高いサービスを提供しています。
- 三菱UFJニコスはクレジットカード、アコムはコンシューマーファイナンス（カードローン）ビジネスを展開しています。

※2017年9月末時点

中長期的にめざす姿

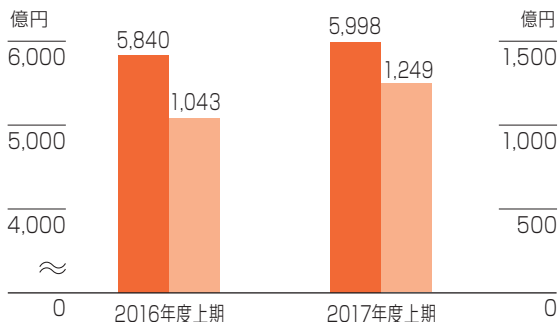
■ あらゆるお客さまから選ばれ、お取引が業態・世代を超えて繋がるトップリテール金融グループ

MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針のもと、お客さま本位の取り組みを徹底し「貯蓄から資産形成へ」の流れを促進していきます。資産運用ビジネスと資産承継ビジネスでは、グループ一体となってMUFGの強みである「総合金融サービス」をシームレスに提供できる態勢をめざします。同時に、お客さま本位の業務運営による「お客さま基盤の拡大」と「ストックビジネスの強化（預かり資産残高の増加）」を通じて「収益の拡大」に繋げ持続的な成長の実現をめざします。クレジットカードなどの決済ビジネスと、コンシューマーファイナンスでは、お客さまの利便性向上に資する商品・サービスの提供により、「個人消費の活性化」に貢献していきます。

2017年度上期の業績

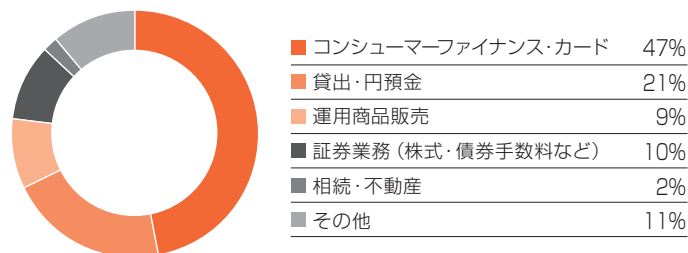
運用商品販売やコンシューマーファイナンス・カードビジネスが堅調に推移し、粗利益・営業純益ともに前年同期比増加しました。

粗利益／営業純益



■ 粗利益 (左軸)
■ 営業純益 (右軸)

2017年度上期粗利益の構成



法人事業本部

国内外のネットワークを活用し、企業のお客さまに貸出や決済、外国為替、資産運用などのサービスを行うほか、グループ各社の専門性を活かした事業戦略やソリューションの提案を通じて、お客さまの多様なニーズにお応えしています。



主な事業会社と事業内容

- 三菱東京UFJ銀行は、法人ビジネスの中核銀行として、40万社を超えるお客さまに貸出や決済など商業銀行サービスに加え、グループ企業と連携したさまざまなサービスを提供しています。
- 三菱UFJ信託銀行は、商業銀行業務に加え不動産、年金、投資運用など、信託銀行ならではのサービスを提供しています。*1
- 三菱UFJモルガン・スタンレー証券は、モルガン・スタンレーとの戦略的提携も活用しながら、債券や株式の引受からM&Aアドバイザーなどのサービスを提供しています。
- 三菱UFJリースは、リースを活用したファイナンススキームを提供しています。
- 三菱UFJファクターは、お客さまの商流を金融面から支えるファクタリングサービスを提供しています。
- 上記のほか、コンサルティングサービスにより多様な経営課題に応える三菱UFJリサーチ&コンサルティングや、創業間もないお客さまの資金調達を支援する三菱UFJキャピタルなど多彩な事業会社がMUFGの総合力を支えています。

*1 2018年4月に法人貸出等業務を三菱東京UFJ銀行に移管予定

中長期的にめざす姿

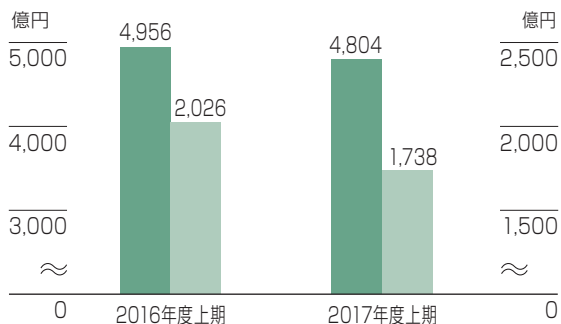
■ お客さまの成長に貢献し、お客さまとともに未来を創出、そしてお客さまに選ばれる金融グループ

「国内事業基盤のさらなる強化」と「新たな法人ビジネスモデルの確立」を実現し、お客さまとともに持続的な成長をめざします。貸出や決済など法人ビジネスのベースとなる取引を強化するとともに、日本の経済環境や社会構造の変化を捉え、事業承継・継続支援を強化するほか、法人向けの投資運用ビジネスの確立、海外ビジネスの高度化などに挑戦します。

2017年度上期の業績

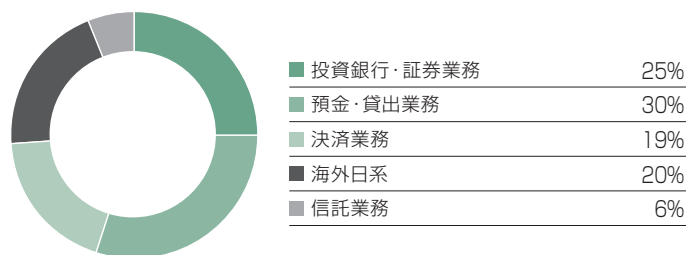
低金利環境の長期化を背景に、貸出・預金などの資金収益が減少し、粗利益・営業純益ともに前年同期比で減益となりました。

粗利益／営業純益



■ 粗利益 (左軸)
■ 営業純益 (右軸)

2017年度上期粗利益の構成*2



*2 その他業務および調整項目を除く

法人事業本部 — 中小企業のお客さまの成長・地域活性化への貢献 —

MUFGは、日本経済再生へ向けに金融面から貢献するため、中小企業のお客さまの経営課題の解決に向けさまざまなサービスを提供するとともに、地域の活性化に向けた支援を行っています。

中小企業のお客さまの成長への貢献

MUFGは、全国に展開する法人営業拠点を中心に、企業のビジネスステージ（成長段階）に応じて、さまざまなサービスを行っています。

創業期

■ 今後成長が期待されるビジネスをサポート

「Rise Up Festa」というプログラムを通じて、新規性・独創性を有する事業や既存の事業領域を超えて新たな事業に取り組む中小企業・成長企業のお客さまに対し、MUFGのノウハウを最大限活かし、中長期的なビジネスパートナーとして支援していきます。2017年4月は、成長が期待される4分野「バイオ・ライフサイエンス」「ロボット・先端技術」「情報・ネットサービス」「ソーシャルビジネス」に取り組む企業を対象に、最優秀企業4社・優秀企業7社を表彰しました。



「Rise Up Festa 表彰式」
(2017年4月)

成長期

■ 円滑な事業資金の供給とビジネス機会を創出

新たなお取引先の紹介を通じた中小企業のお客さまの成長支援にも注力しています。

2005年から定期的開催している大規模商談会「Business Link 商賣繁盛」は今年で第14回を迎え、「オープン・イノベーション」と「グローバル&ローカル」をテーマにパシフィコ横浜で開催されました。約4,000社が参加し、過去最大規模となる、約9,700商談が実施されました。



「第14回Business Link 商賣繁盛」
(2017年2月)

成熟期

■ 事業の円滑な承継のために

オーナー企業の円滑な事業承継を支援するため、三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行では、専門の担当者が、お客さまの事業承継に関するさまざまなアドバイスを行っています。

事業再生

三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行では、お借入れ条件の変更や経営に関するご相談に、迅速かつ丁寧に対応しています。また、必要に応じて内外の専門家を紹介するなど、さまざまなサポートを行っています。

地域経済の活性化への貢献

MUFGは、行政機関や地域金融機関との連携を通じて、地域経済の活性化や地域産業の育成につながる事業を支援しています。

■ 事例紹介1 食品企業の商談会を北海道地区にて開催

2017年9月、三菱東京UFJ銀行は、地方創生事業の一環として「海外販路開拓支援商談会（北海道）」を札幌で開催しました。

この商談会は、海外プロモーションや海外販路の拡大、国際的な物流体制に課題をお持ちの食品企業に対して、アジアへの進出のための販売ルート開拓、物流などをサポートすることを目的としたものです。北海道地区の36社の食品企業にご参加いただき、機能提供企業のご紹介や三菱UFJリサーチ&コンサルティングによる無料相談会を実施し、面談数は約100件に上りました。

■ 事例紹介2 「生涯活躍のまち^(※)」を活用したセミナーを開催

2017年7月、三菱東京UFJ銀行は三菱UFJ信託銀行と協力して「沖縄の地域と移住者のためのまちづくりセミナー」を開催しました。

沖縄県は、政府が推進する当地ならではの「生涯活躍のまち」づくりへの取り組みを積極的に行っています。本セミナーでは、「生涯活躍のまち」をテーマに、産官学それぞれの視点から講師をお招きして講演。32社約50名が来場し、参加者からは「新しい気付きが多くあった。どのように参画できるか、ぜひ社内で検討してみたい」などの声が聞かれました。

※元気な高齢者が地方や「まちなか」に移り住み、多世代と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、医療・介護を受けられる地域（まち）づくりのこと。



国際事業本部

世界50カ国以上で、企業のお客さまの資金調達ニーズにお応えするほか、キャッシュマネジメントサービス、各種アドバイザリー業務を行っています。MUFGユニオンバンクとクルンシィ（アユタヤ銀行）では、それぞれ米国とタイで、リテール向けサービスも提供しています。



主な事業会社と事業内容

- MUFGは世界50カ国以上に、約1,200拠点の邦銀随一の海外拠点網を有し、幅広くサービスを提供しています。
- 三菱東京UFJ銀行は世界各地で商業銀行サービスを展開。海外ネットワークを活用し、世界各地域でお客さまの多様なニーズにお応えしています。
- MUFGユニオンバンク、クルンシィ（アユタヤ銀行）は、それぞれ米国・タイで現地企業向けビジネスやリテールビジネスを行っています。
- 三菱UFJ証券ホールディングスは、米国・ロンドン・シンガポール・香港など世界の主要都市に海外ネットワークを持ち、証券業務を展開しています。

中長期的にめざす姿

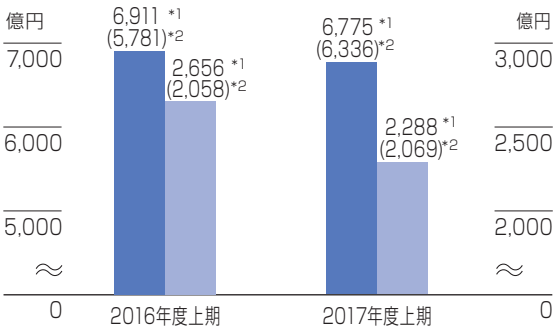
■ 世界の各地域でお客さまから最初に選ばれる銀行、“First Call Bank”をめざします

各地域独自の強みを発揮したビジネス展開と、グループ一体での商品・サービス力の強化により、世界各地域でお客さまに選ばれる銀行、「First Call Bank」をめざします。持続的成長の実現に向け、銀証手数料ビジネスの強化、バランスの取れた事業ポートフォリオの構築、外貨流動性の増強、成長を支える人材の強化を進めていきます。

2017年度上期の業績

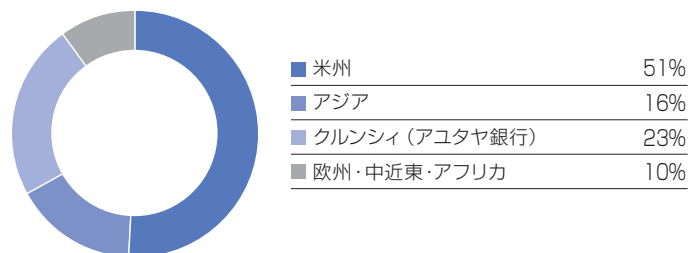
決算レートベースでは前年同期比増益でしたが、米州M&A市場減速等の外部要因に加え、バランスシート抑制運用等ビジネスモデル変革過程での影響があらわれたことから、為替要因を除いた現地通貨ベースでは前年同期比減益となりました。

粗利益／営業純益



■ 粗利益 (左軸)
■ 営業純益 (右軸)

2017年度上期粗利益の構成^{*3}



^{*1} 現地通貨ベース
^{*2} 決算レートベース
^{*3} 地域間重複等調整項目を除く

受託財産事業本部

国内外の資産運用・資産管理業務における各種サービスを提供しています。グローバルな資産管理・資産運用、投資信託、年金の各分野において、高度かつ専門的なノウハウを活用したコンサルティングや、運用力・商品開発力の向上に取り組み、お客さまの多様なニーズにお応えしています。



主な事業会社と事業内容

- 三菱UFJ信託銀行は、日本トップクラスの資産運用機関として国内外の機関投資家や個人のお客さまに各種運用商品を提供しているほか、子会社の日本マスタートラスト信託銀行とともに、海外市場への投資機会の拡大などを通じて高度化・多様化する資産管理ニーズにお応えしています。企業年金分野では、年金制度設計から資産運用・管理まで総合的なサービスを提供しています。グローバルな競争力強化をめざして海外の運用会社との資本・業務提携も進めています。
- 三菱UFJ国際投信は、これまで培ってきた商品開発力と運用力、お客さまへのサポート力を結集し、顧客のニーズや利益に合う商品の提供を行うことで、お客さまの中長期的な資産形成に貢献しています。
- 三菱UFJファンドサービスは、「MUFGインベスターサービス」ブランドのもと、グローバルな運用機関に対して、各種資産管理サービスをワンストップで提供するなど、お客さまの多様化するニーズにお応えしています。

中長期的にめざす姿

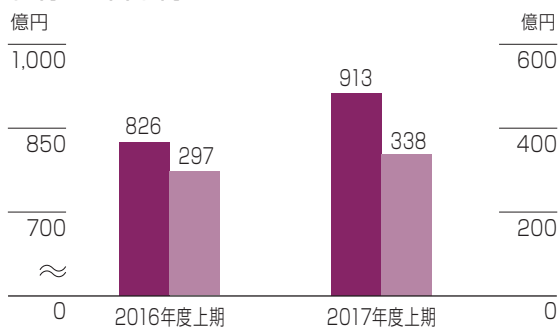
■ 国内基盤に立脚しつつ、グローバルに存在感ある運用・資産管理機関

厚生年金基金の縮小、「貯蓄から資産形成へ」の流れ、個人型確定拠出年金（iDeCo）の拡大といった国内市場の構造変化に適切に対応するとともに、海外事業収益を拡大していきます。国内では、投信運用業務において質の高い商品の提供と資産形成層に向けた基盤商品の拡充に注力するとともに、投資教育を通じた資産形成の促進をめざします。年金業務においては制度改革などの環境変化に即したコンサルティング・提案の強化に努め、確定給付年金でのシェア拡大・確定拠出年金での運用商品販売残高拡大をめざします。海外では、資産管理領域において、戦略的出資も活用しつつ、成長を続けるオルタナティブファンド向け管理業務を強化します。資産運用領域では出資・提携も活用し、海外投資家からの運用受託残高拡大を図り、グローバルに存在感ある運用機関をめざします。

2017年度上期の業績

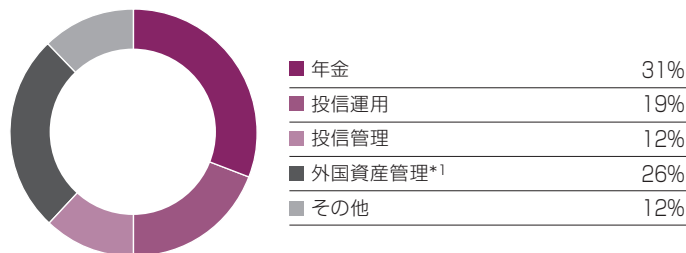
厚生年金基金縮小の影響を受けましたが、外国資産管理ビジネス・投信管理ビジネスの預かり資産拡大等により、前年同期比増益となりました。

粗利益／営業純益



■ 粗利益 (左軸)
■ 営業純益 (右軸)

2017年度上期粗利益の構成



*1 「MUFGインベスターサービス」ブランドのもと提供するカスタディ業務、ファンド管理業務

市場事業本部

債券・外国為替・株式・デリバティブ（金融派生商品）などの市場性取引の推進やALM業務（貸出などの資産と預金などの負債に内在する資金流動性リスクや金利リスクなどを総合的に管理する業務）を担っています。



主な事業会社と事業内容

- 三菱東京UFJ銀行は、東京、ロンドン、ニューヨーク、シンガポール、香港などを中心に市場業務拠点を有し、グローバルにビジネスを展開しています。
- 三菱UFJ信託銀行、三菱UFJ証券ホールディングスは、東京、欧州（ロンドンほか）、米州（ニューヨークほか）、アジア・オセアニア（香港、シンガポールほか）などに市場業務拠点を有し、グローバルにビジネスを展開しています。
- MUFGユニオンバンク、クルンシィ（アユタヤ銀行）、三菱東京UFJ銀行の中国現地法人も、それぞれ市場業務を行っています。

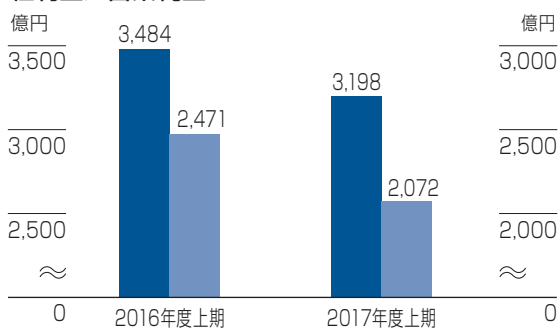
中長期的にめざす姿

■ グローバルマーケットにおける“MUFGブランド”を確立～本邦・アジアに明確な強みを持つマーケットプレーヤーをめざします
市場業務のグループ体系的な運営により、セールス&トレーディング業務を強化します。特に、商業銀行・証券会社の国内外トレーディング機能の一体的運営とお客さまへのセールス機能の統合により、事業法人から機関投資家のお客さままでワンストップでサービスを提供していきます。また、国内外、円貨・外貨一体でのバランスシートマネジメントの高度化をめざします。

2017年度上期の業績

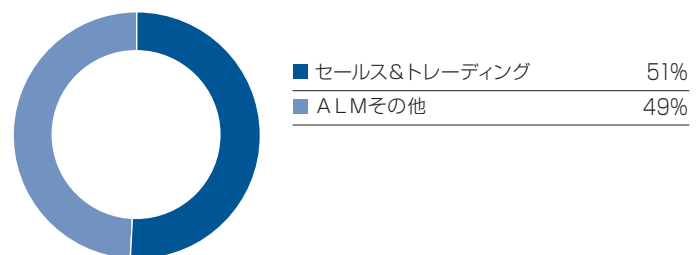
相場膠着によるセールス&トレーディング業務の苦戦や、国内外の低金利長期化によるALM業務への影響から、粗利益・営業純益ともに前年同期比で減益となりました。

粗利益／営業純益



■ 粗利益 (左軸)
■ 営業純益 (右軸)

2017年度上期粗利益の構成*



* 部門間調整前